

水道の上手な使い方

あなたは水をムダにしていますか。水は私たちの日常生活にとって欠かすことのできない大切なものです。水の上手な使い方を工夫してみましょう。



- 蛇口はこまめにしめて、水をムダなく使いましょう。
- 洗たくものは洗剤あらいの後に必ず脱水しましょう。すすぎの前に一度脱水すれば洗う水の節約になります。
- お風呂の残り水は洗たく、掃除、水まきなどに使いましょう。
- 放水しながらの洗車はやめましょう。
- 職場・駅・公園などでも、ムダな使い方はやめましょう。
- 散水栓（共用栓）は、所有者もしくは管理者が適正に管理して節水に努めましょう。

震災時の飲料水（震災の備え）

日ごろから飲料水の確保を

企業局では、震災に備え、管路や施設の耐震化を進め、応急給水体制についても万全を期しているところですが、震災時には混乱が予想され、応急給水が開始されるまで時間がかかることがあります。

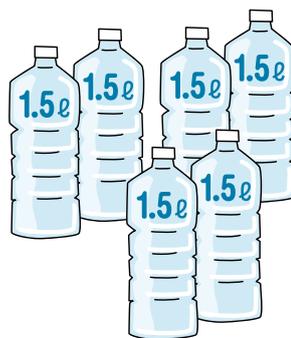
万一に備え、日ごろから飲料水を確保する習慣をつけましょう。

● 1人1日3ℓを3日分

フタのできる清潔な容器で、飲料水の確保をしましょう。

● 直射日光を避けて冷暗所に保管しましょう。

● 塩素による殺菌効果が3日程度のため3日に一度はくみかえをしましょう。

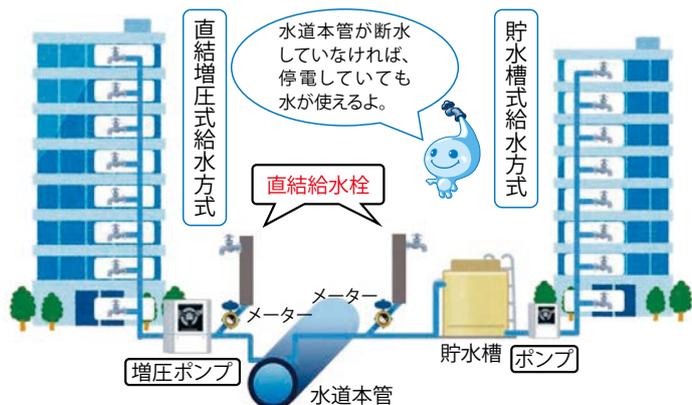


停電時に活用できる給水栓について（災害時等の備え）～集合住宅にお住まいの方へ～

災害等による停電時に、水道本管が断水していない状況でも、集合住宅に設置されている貯水槽のポンプや増圧ポンプが停止し、各お部屋に水を送れなくなることがあります。そのような場合でも「直結給水栓」、「非常用給水栓」が設置されている場合は、その水栓を活用できることがあります。なお、直結給水栓は、常時使用できる状態にあることから、停電時や災害時に使用した場合でも、基本料金及び使用料金は発生します。

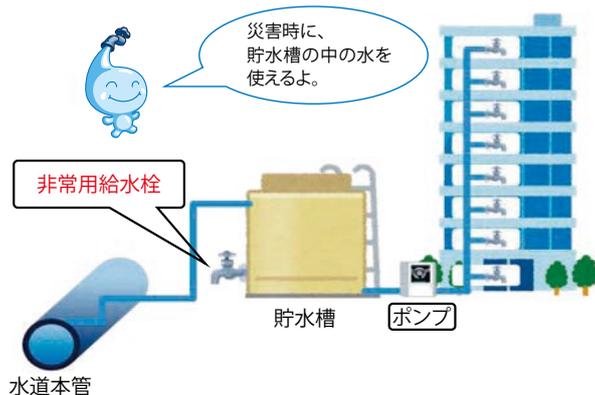
直結給水栓

貯水槽や増圧ポンプ手前に直結給水栓（散水栓等）が設置されている場合、その水栓（蛇口等）を活用することができます。



非常用給水栓

貯水槽に非常用給水栓が設置されている場合、貯水槽内の水道水を給水することができます。



建物の管理者の方に、各水栓の有無、設置場所、利用してもよいか等、確認されることをお勧めします。